

は虫類・甲殻類など①

は虫類

イシガメ



日本固有種 純粋種は名古屋市2015絶滅危惧Ⅱ類。近い種との雑種化が進む。この個体が純粋種かは不明

クサガメ



甲羅に3本の凸がある。ペットとして養殖もされ、在来種かは不明。またイシガメとの雑種も産まれ得る。

スッポン



肉食性の強い雑食性(貝やエビ類、水生植物)。食用やペットとしても養殖されており、在来種かは不明。



ミシシッピ
アカミミガメ

アメリカ原産 昭和期に輸入され定着し、堀川でも全域で生息している。在来種の生活環境と競合する。

甲殻類

アメリカザリガニ



アメリカ原産 昭和期に輸入されたものが全国的に定着した。外国では食用にもされている。



スジエビ

肉食性 淡水のエビの代表格。魚類や虫類、鳥類のエサであり、堀川の生態系を支えている。

テナガエビ



肉食性 回遊性で孵化した幼生は川の流れて海まで下り、稚エビに成長し、川をさかのぼる。

チチュウカイミドリガニ



地中海、カナリア諸島原産 堀川では、下流域の泥の中で生活している。



フジツボ

動いている姿を見かけないので、貝類と思われがちだが、甲殻類の仲間。時折、触手(曼脚)を伸ばしている。

フナムシ



雑食性で海岸の岩場に群れている掃除屋さん。中区内の堀川にも生息している。千鳥など鳥のエサでもある。

フロリダマミズヨコエビ



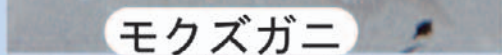
アメリカ原産 成長しても4~8mm。堀川では中流域で確認されている。在来のヨコエビより汚濁に強い。



クロベンケイガニ

雑食性 堀川では中・下流域に生息。海に放卵された孵化した幼生は、稚ガニに成長し、川をさかのぼる。

モクズガニ



稚ガニから親ガニになると川をさかのぼり、産卵のために海に下る回遊性のカニ 名古屋市2015準絶滅危惧

ミナミヌマエビ

雑食性 卵は孵化するまで、メスの腹部で抱え込まれ、生涯 淡水域で生活する。



外来生物



生態系被害
防止外来種



東山動植物園
にて展示あり

企画作成:名古屋市緑政土木局 河川計画課
堀川まちづくりの会

写真協力:堀川 1000 人調査隊 2010

実行委員会